

## 次期 長野県総合5か年計画と長野県食と農業農村振興計画の策定スケジュール

区分		次期長野県総合5か年計画	次期長野県食と農業農村振興計画		
			審議会	プレスリリース等公表 パブリックコメント募集 県議会説明	
平成 28 年度	8月		8/30 第1回審議会 次期計画の策定スケジュール 次期計画に対する意見・提言		
	2月		2/14 第2回審議会 諮問、次期計画の方向性		
	3月				
平成 29 年度	4月				
	5月				
	6月	上旬	6/12 第4回総合計画審議会 現状認識、重点施策の方向性、 基本	6/12 第3回審議会 構成、骨子、施策の展開方向 ＜現地調査(松本)・意見交換の実施＞	審議会開催プレスリリース
		中旬			
		下旬			
	7月	上旬		7/12 現地調査(東信)・意見交換	
		中旬		7/18 現地調査(上伊那)・意見交換	
		下旬			
	8月	上旬			
		中旬			審議会開催プレスリリース
		下旬	8/25 第5回総合計画審議会 答申案に向けた整理	8/29 第4回審議会 H28実績レポート 次期長野県食農計画の素案検討	
	9月	上旬			
		中旬			9月議会農政委員会 28実績レポート説明
		下旬			審議会開催プレスリリース
	10月	第6回総合計画審議会 計画の答申案	10月中下旬 計画素案 各委員へ説明		
11月	総合計画審議会 答申	11/13 第5回 審議会 答申、今後の推進	11/14～12/13 パブリックコメント募集		
	計画案概要 県議会報告		各会派・関係県議説明		
12月			11月議会農政委員会 素案説明		
1月					
2月	計画案 県議会提出	計画案の公表	2月定例会		

# 次期総合5か年計画の構成(素案)

第5回長野県総合計画審議会(8/25)資料【8/21現在】

## 【策定の趣旨】

(計画の位置づけ)  
 ・概ね2030年頃の長野県の将来像を展望する長期ビジョン  
 ・今後5年間の行動計画  
 ・都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略

(計画期間)  
 ・平成30年度～34年度(5年間)

## 【現状認識】

○長野県を取り巻く状況

1 世界規模の動き  
 (1) 世界との結びつきの緊密化  
 (2) 技術革新の急速な進展  
 (3) SDGsなど持続可能な経済・社会・環境への気運の高まり

2 日本国内の動き  
 (1) 急激な人口減少と東京圏への人口流出  
 (2) 低成長経済の長期化による生活意識の変容  
 (3) 貧困・格差の拡大  
 (4) 人生100年時代へ  
 (5) 広域交通ネットワークの整備  
 (6) 東京オリンピック・パラリンピックの開催

○長野県の特徴

1 豊かな自然環境  
 2 大都市圏へのアクセスの良さ  
 3 多様な個性を持つ地域  
 4 全国トップレベルの健康長寿  
 5 自主自立の県民性

## 【将来像】

現行計画を基本として構築(バージョンアップ)

※ 以下は現行計画の表現

《基本目標》  
 確かな暮らしが営まれる美しい信州

《めざす姿》

1 世界に貢献する信州

〔世界との相互依存が深まる中で、地域の知恵や資源を活かして信州が世界に、そして他地域に貢献している。〕

2 「豊かな」ライフスタイルを実現する信州

〔自然や伝統と最先端の技術が調和した、ゆとりある暮らしやすい信州となっている。〕

3 誰にでも居場所と出番がある信州

〔誰もが等しく社会からその存在を認められ、自らの可能性に挑戦し、自分らしく生きている。〕

4 健康長寿世界一の信州

〔世界に誇れる健康長寿先進県が、将来にわたり継承・発展している。〕

5 一人ひとりの力を引き出す教育県信州

〔子どもから大人まで全ての県民が主体的に学び、個々の持つ能力を社会の中で発揮している。〕

## 【5年間の政策の柱】

創造的な学びの推進

〔時代の変化に対応し、未来を切り拓くため、主体的に生涯にわたって学ぶ環境を整える。〕

産業・経済の持続的発展

〔第4次産業革命に対応し、活発なイノベーションを促進することにより、足腰の強い産業構造と経済活力を創出する。〕

健康と安全の確保

〔豊かな自然環境の中で、安全・安心で健全に生活することが出来るよう、人の命を徹底的に守る。〕

新しいライフスタイルの実現

〔人生100年時代に向け、持続可能で自分らしい暮らしを選択できる仕組みを構築する。〕

地域力(・自治力)の向上

〔個人・団体・行政が主体的に、かつ協働して取り組む地域をつくる。〕

## 【政策の推進】

《重点プロジェクト》(検討例)

・中山間地域の特性とICTを活かした「最先端の学び」の実践  
 ・幼児教育の調査研究や研修の拠点となる幼児教育支援センターの設置  
 ・信州大学等と連携した自然・野外教育プログラムの開発・普及

・県立社会教育施設(図書館、歴史館等)のセンター的機能の強化、公民館など学び合い活動のプラットフォーム構築  
 ・大学を核として地域の企業や研究機関が連携する産業・研究クラスターの形成  
 ・林業大学の専門職大学への移行検討など人材育成機関の高度化 など

《総合的に展開する施策》

◇  
◇  
◇  
◇

・高度な精密加工技術を活用したオンリーワンの製品・部品の開発支援、産業イノベーションセンターの創設  
 ・地域産業のニーズに応える試験研究・人材育成機関の機能強化  
 ・広域的な観光地域づくりを主導する地域DMO/DMCの構築支援

・「信州の食」の価値向上と発信  
 ・果樹・野菜の市場の期待が高い品目への転換、長期出荷体制の構築  
 ・スマート林業や木工芸品のデザイン性向上など林業・木材産業の成長産業化、人材育成機関の高度化・連携強化 など

◇  
◇  
◇  
◇

・自助・共助・公助を組み合わせた住まいの災害対策、広域的な防災拠点の整備  
 ・SOSの出し方教育など若者の自殺予防の強化、通学路の総点検など交通事故防止対策の徹底  
 ・出産から子育て、就学、就業まで切れ目なく支援する体制の構築  
 ・地域の健康課題をデータで見える化し、健康づくりや医療の充実に活用

・屋根ソーラーの拡充など自然エネルギーの導入加速、環境エネルギー分野の産業化支援  
 ・専門人材による県文化施設の企画・運営力強化  
 ・2027国体・全国障害者スポーツ大会に向けた競技力向上 など

◇  
◇  
◇  
◇

・女性活躍推進拠点の整備、男性の家庭参画を応援する体制の強化  
 ・消費行動を通じて社会的課題の解決に寄与する「エシカル消費」の仕組みづくり  
 ・移動の足の確保や、モノのリユースの拡大・定着につなげるシェアリングの推進

・協働によるまちづくり・まちづかいを促進できる人材の育成、都市緑化の促進  
 ・本州中央部広域交流圏、リニアバレー構想の推進  
 ・継続的なつながり人口(関係人口)を増やすための交流プログラムや滞在施設等の充実 など

《地域づくりの応援》

・地域振興局を核とした地域課題の解決  
 ・人的・財政的支援

《10の地域経営方針》

○地域のめざす姿  
 ○地域重点政策

【計画の推進力向上】

1 県民起点の働き方改革・しごと改革の実践  
 2 行政経営を支える組織・人材・財政づくり  
 3 地域を支える市町村との協働  
 4 政策評価による実効性確保

※ 信州創生戦略の基本目標も踏まえ、数値目標を設定